



確かな学力の向上をめざして【11月】

■不登校児童生徒の理解と適切な支援に向けて～「あした、また学校でⅢ」の活用～

中部地区では「不登校児童生徒の出現率が高い」という課題があります。この課題を解決するためには、不登校についての理解を深め、未然防止に努めるとともに、不登校児童生徒への適切な対応と支援を行うことが大切です。教職員研修資料「あした、また学校でⅢ」をご活用ください。



不登校の原因は？

あした、また学校でⅢ P1

不登校になると、その原因の特定に意識が向かいがちですが、原因がはっきりしないこともあります。直接の原因となったストレスだけでなく、原因となるストレスを多面的に捉えることが必要です。



最後に入ったストレスを不登校の原因の全てと考えてしまう

実は様々なストレスが壺(心)の中にたまっている

(鳥取県小児科医石谷暢男氏HPより)

段階・状況を理解し、支援する

不登校傾向～不登校～回復～再登校のプロセスの中には、いくつかの段階があります。

児童生徒の段階・状況を理解することで、適切な時期に、適切な対応・支援を行うことができます。

あした、また学校でⅢ P16

背景を理解し、支援する

児童生徒の態度・行動・性格傾向をもとに、それらの背景を捉えることが大切です。

「どうしてそのような態度をとるのか」等、その背景を理解することで、適切な対応・支援を行うことができます。

あした、また学校でⅢ P17

保護者への支援も必要です！



スクールカウンセラーを活用しましょう！

あした、また学校でⅢ P24

スクールカウンセラーは、心理や発達についての専門家という立場から、児童生徒のあらゆる問題行動に対応する活動をしています。

また、教職員向けの研修や保護者向けの研修なども行います。スクールカウンセラーの役割を確認し、児童生徒の成長のために有効に活用しましょう！

不登校の未然防止、不登校児童生徒への適切な対応のために「あした、また学校でⅢ」をご活用ください！

※「あした、また学校でⅢ」は平成27年3月にすべての先生に配布されています。

※いじめ・不登校総合対策センターのホームページからもダウンロードできます。

